

森のかおり 内装引戸ユニット  
片引（幅狭用共通）・引違・引込・引分

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

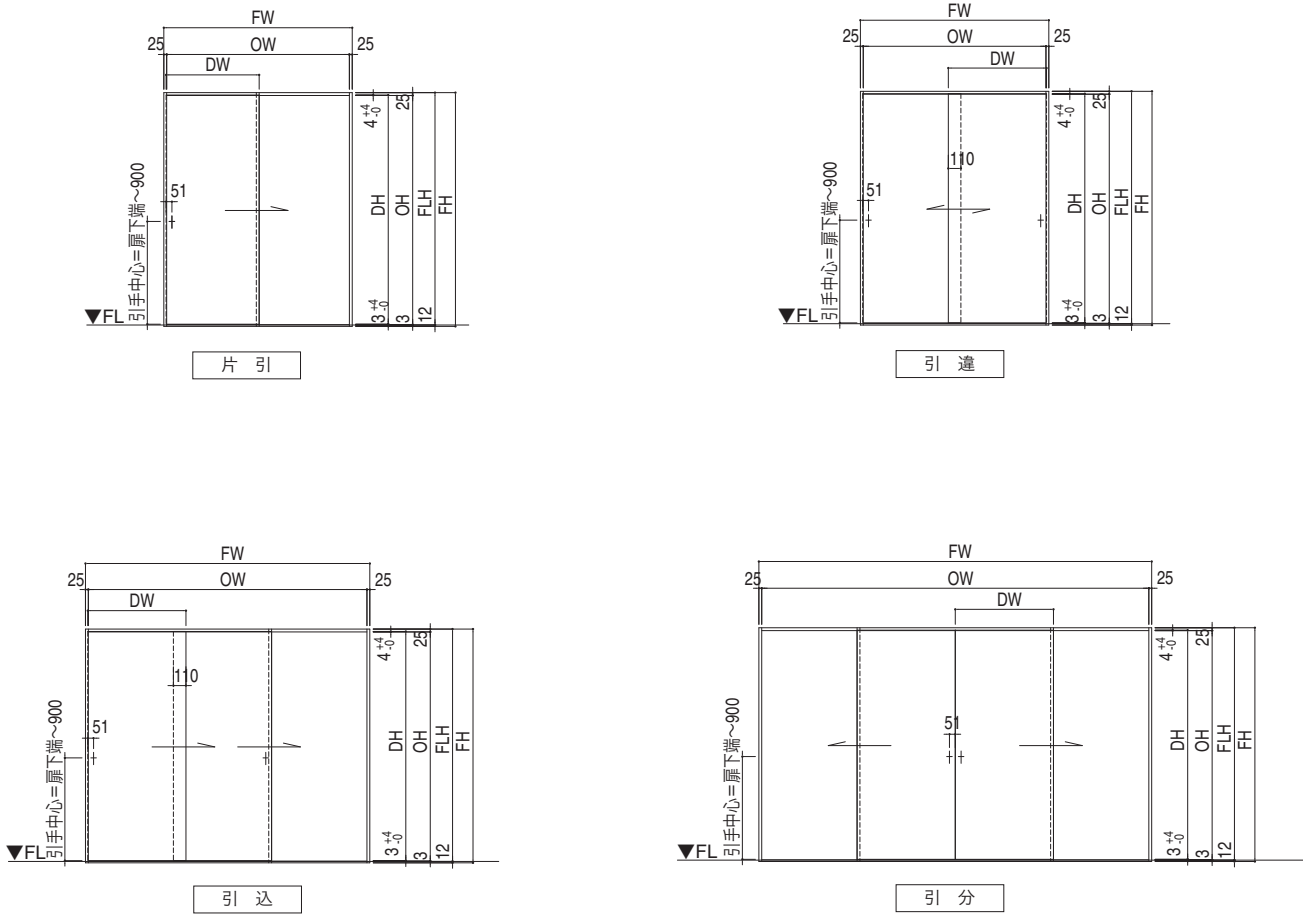
扉梱包（扉本体）		枠梱包				
片引	引違 2本引込 引分	上枠	片引	引違	2本引込	引分
1	2		1	1	1	1
		縦枠 (クッション付)	1	2	1	-
		戸当枠	1	-	1	2
		方立枠	1	-	1	2
		鴨居 レール	1	1	1	1
		下枠梱包				
		下枠	1	1	1	1
		Yレール	1	2	2	1

部品梱包	躯体取付ビス  (4.2×62mm)	枠組立ビス(細)  (3.5×50mm)	関止(引分専用) 	接着剤 	枠組立ビス(太)  (7.0×50mm)
片引	16	9	-	1	4
引込	16	8	-	1	4
引分	22	12	1	1	4
引違	13	4	-	1	4

スタンダード(固定枠・ケーシング枠)				
サイズ	片引	引違	2本引込	引分
FW	1185・1650	1650	2490	3440
FH	2047			

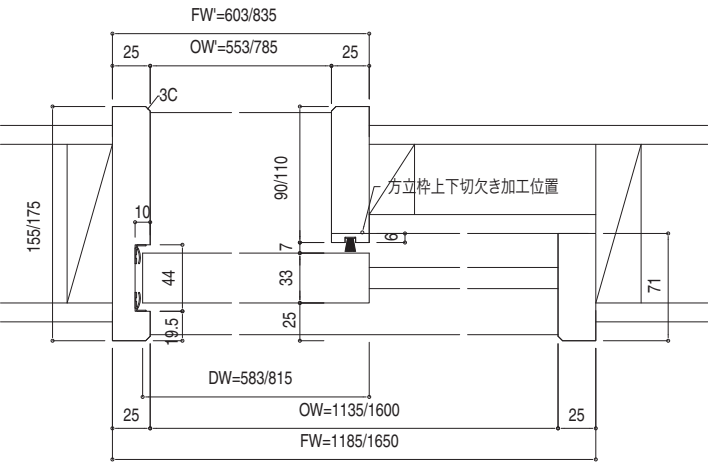
※FHは製品サイズです。

姿図

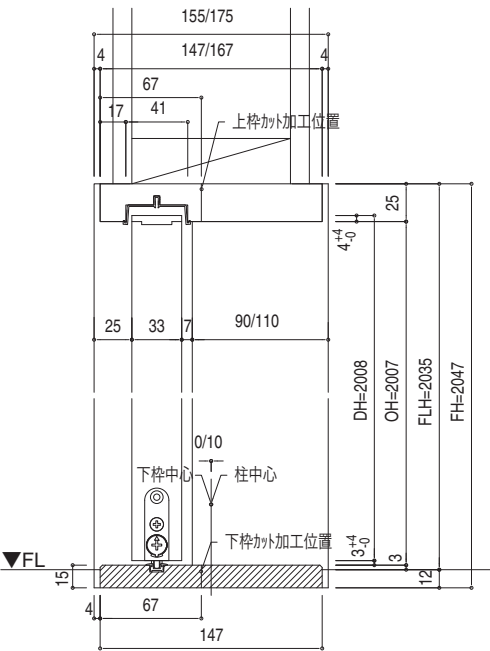


●片引 Yレール/固定枠

横断面図

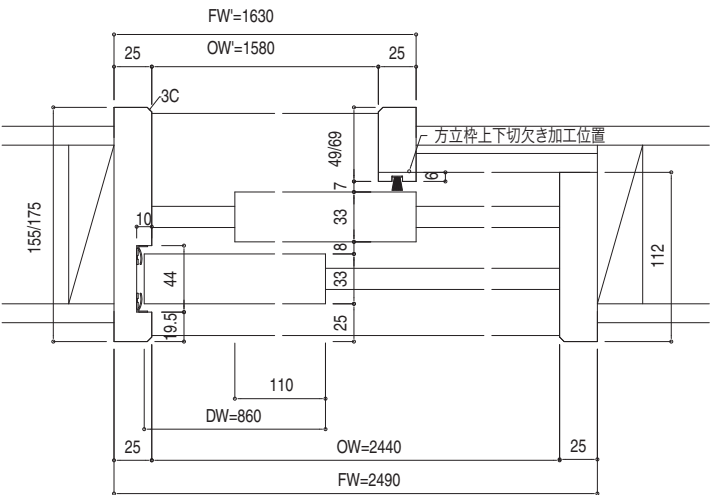


縦断面図

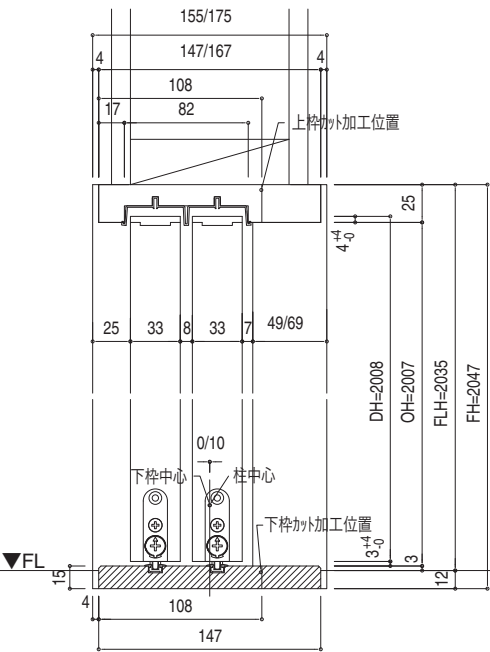


●2本引込 Yレール/固定枠

横断面図

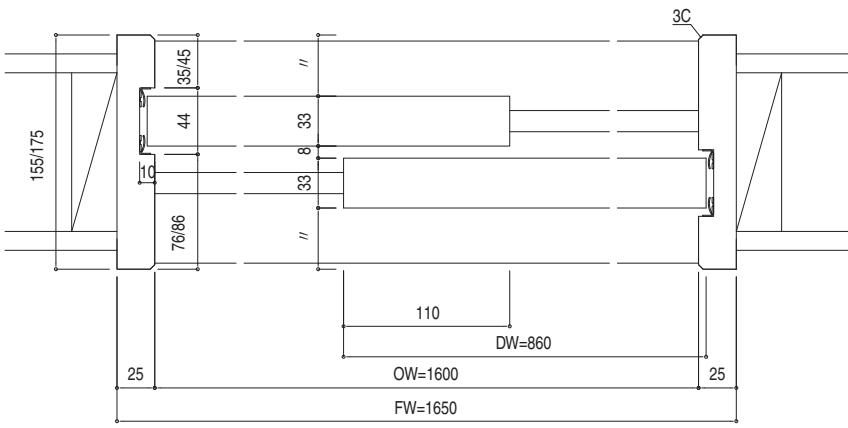


縦断面図

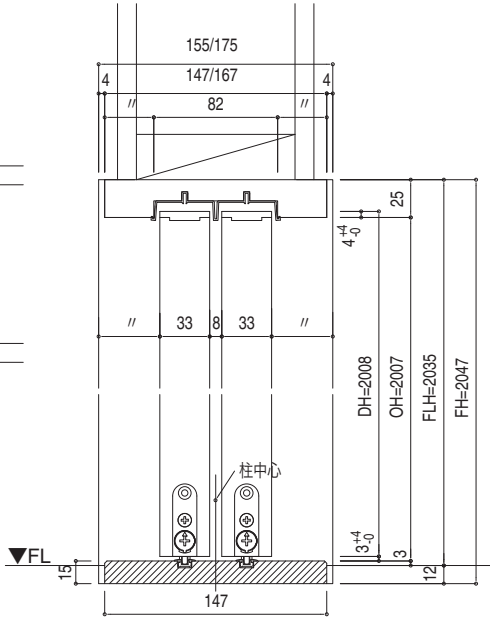


●引違 Yレール/固定枠

横断面図

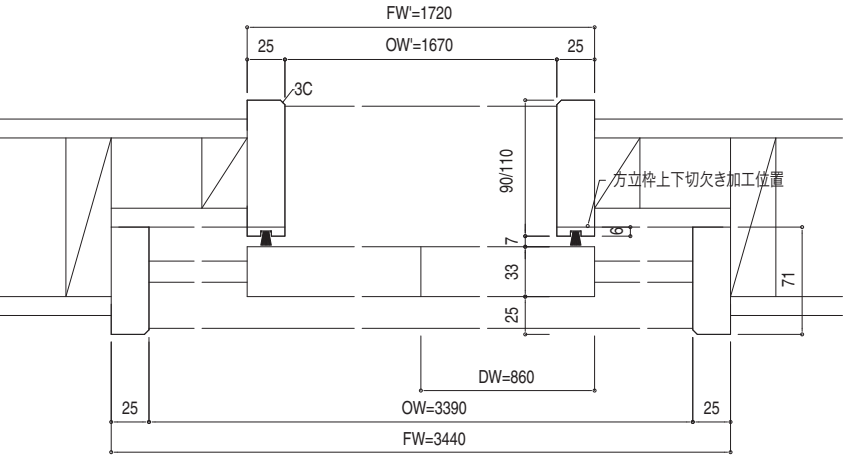


縦断面図

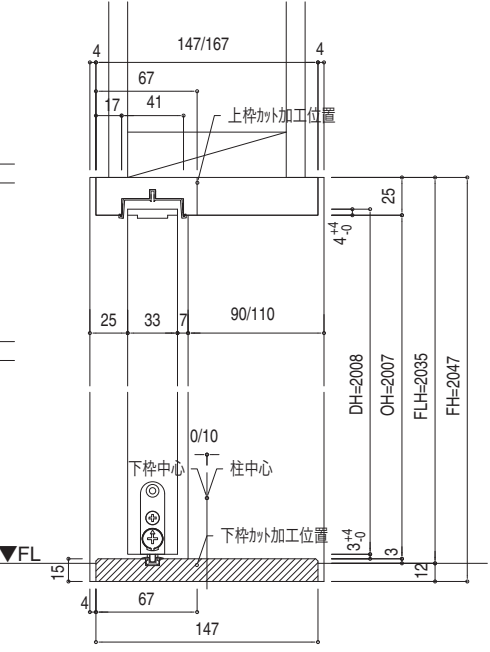


●引分 Yレール/固定枠

横断面図



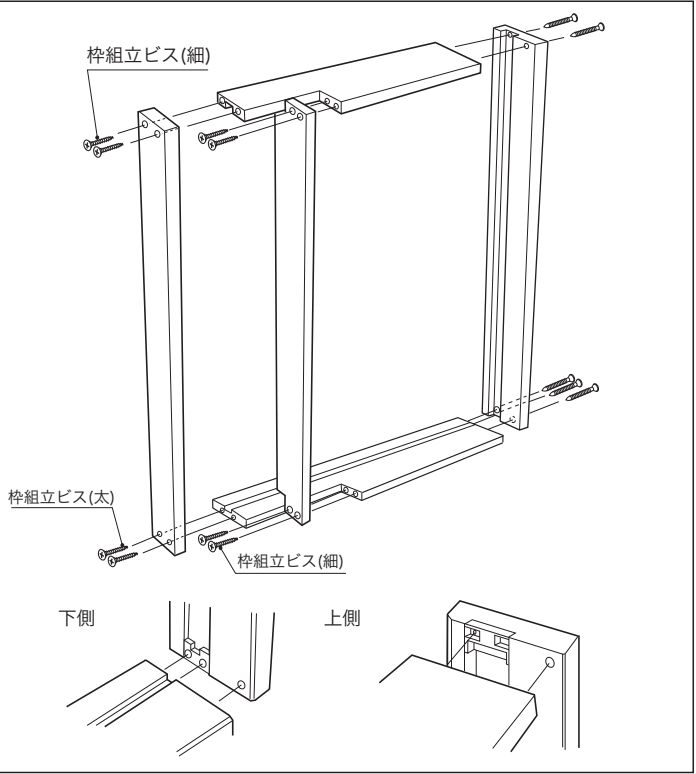
縦断面図



# 取付け順

## 1. 枠の組立て

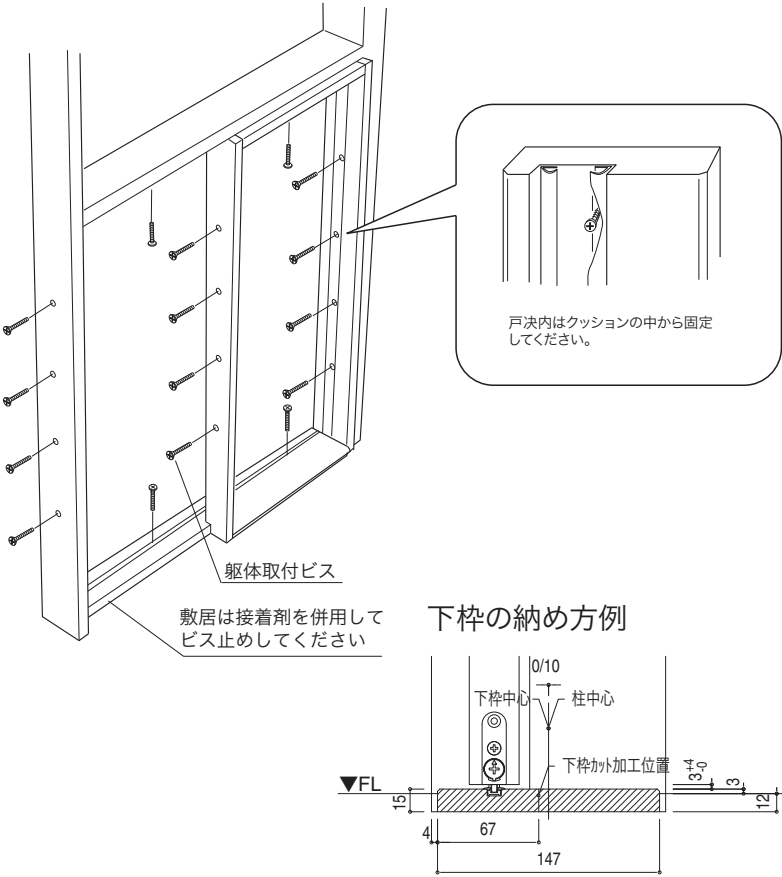
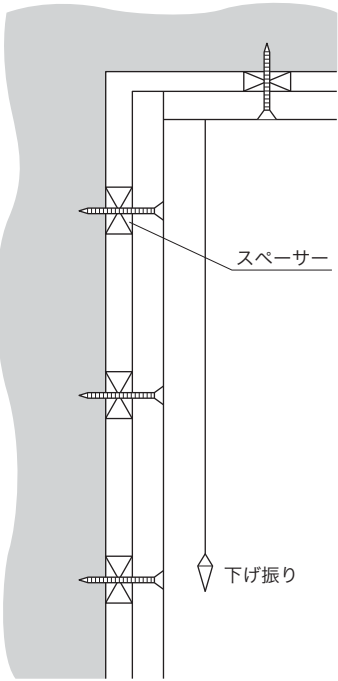
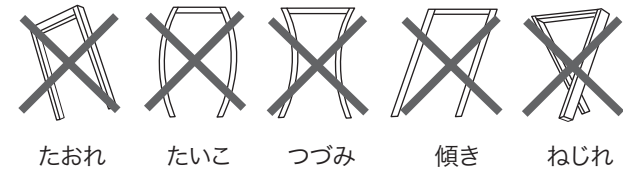
- ①縦枠及び戸当枠と上・下枠を、枠組立ビスで締付けてください。
- ②方立枠は、枠組立ビスで固定してください。



## 2. 枠の取付け

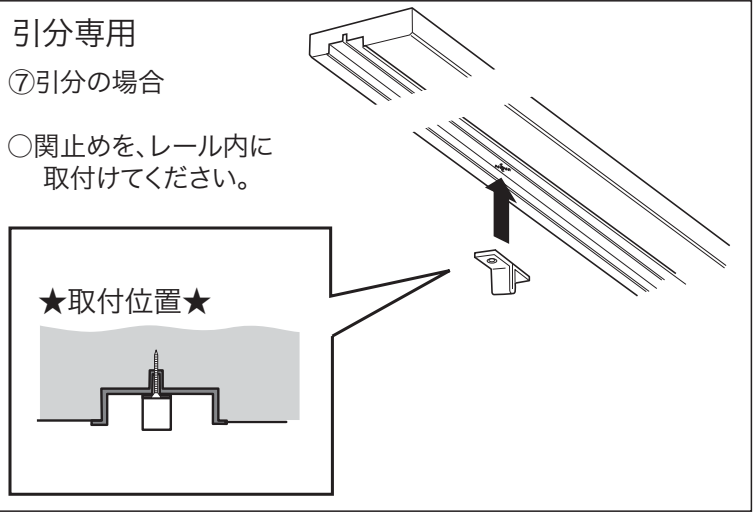
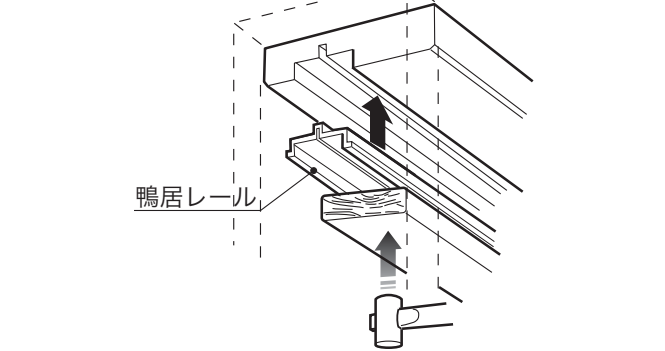
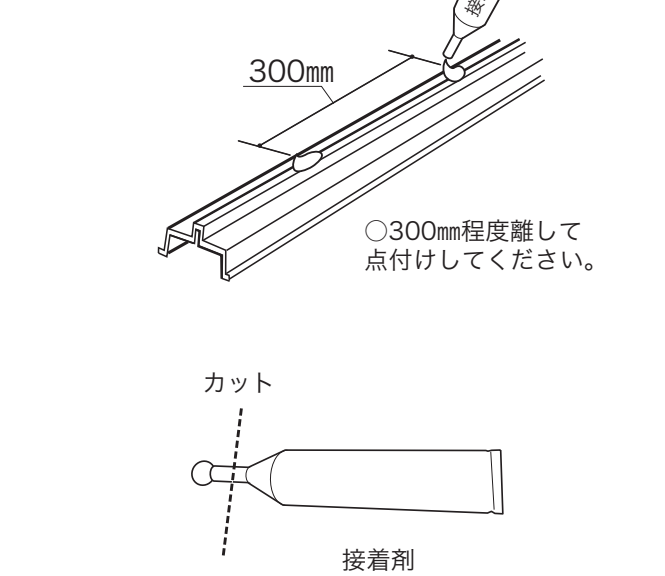
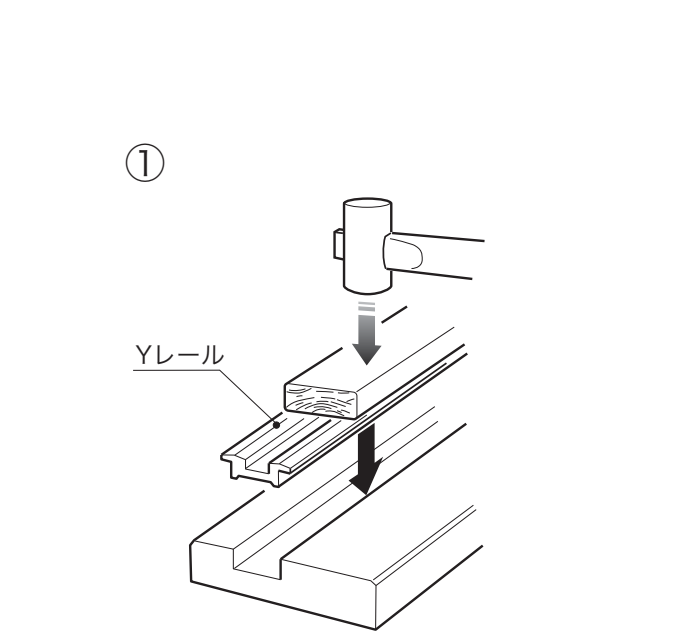
- ①開口部の水平・垂直を確認してください。
- ②躯体取付けビスを使って、枠を取付けてください。

※下げ振りなどで建付けを確認しながら取付けてください。  
※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



## 3. 部品の取付け

- ①Yレールを下枠の溝に打ち込んでください。  
【注意】必ず当て木を使用してください。
- ②上溝レールに接着剤を点付けしてください。
- ③上溝レールを上枠の溝に取り付けてください。



## 4. 扉の吊込み

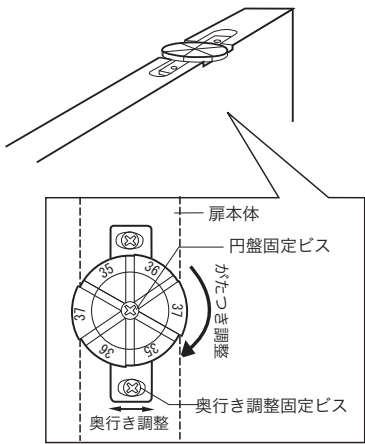
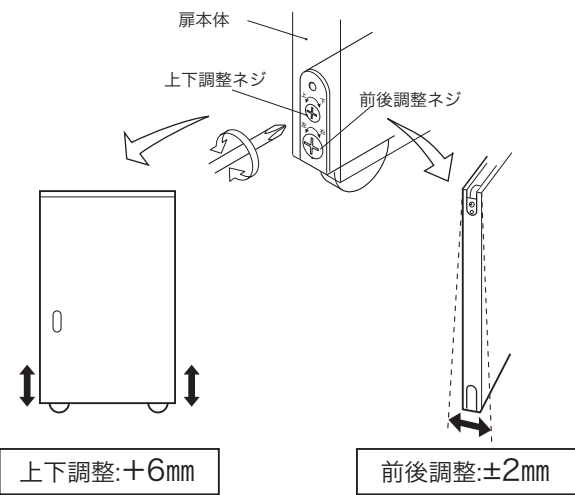
● 枠に扉を吊込んだのち、開閉して状態を確認してください。

**注意** 扉の保護のため、一度扉をはずし建築工事完了後に吊込むことをお勧めします。

## 5. 建付け調整

● 下戸車で、扉の上下調整と、前後調整ができます。

● 前後調整ユニットで扉のガタツキと前後調整ができます。



※別紙「ソフトクローズシステム」の取説を参考に動作確認と調整を行ってください。

※トイレ用の片引には、鎌錠が標準で付いています。鎌錠のかかりが悪い時は、枠側受の調整と戸車の上下調整を行って下さい。

## 施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆ すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆ 取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。  
※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。